**「質問」**

ジャガイモYウイルス（塊茎えそ系統）について、文献によると「とうや」はPVY-T接種による病徴は示さないとありますが、PVY-NTN接種では病徴を現すのでしょうか？（とうやの生産圃場ではモザイク症状を示す株は見られています）

また、PVY-TとPVY-Nは同様のものと考えてよろしいのでしょうか？

**「回答」**

お問い合わせありがとうございます。

「とうや」での文献での記載は、PVY-T接種による一次病徴（ウイルスに感染した世代での症状）は示さないとされていますが、品種化に際しての情報では無～弱となっており、ウイルスを接種してもあまり症状が出ないという位置づけです。

一方で二次病徴（ウイルスにかかった塊茎を植えた世代）ではれん葉やモザイク等の症状が認められます。PVY-NTNに関しては、残念ながら今回の試験では「とうや」を供試しておりませんので、はっきりと申し上げられませんが、過去にモザイク症状を呈した「とうや」からPVY-NTNを検出したことはありますので、PVY-NTNによる病徴の一つとしてモザイクが挙げられます。

PVY-TはPVY-Nと同じものと考えていただいて大丈夫です。

**「質問」**

当法人は原種馬鈴薯を生産しておりますが、症状が明瞭ではない「男爵薯」にはいつも不安を感じながら抜き取りをしています。連葉やモザイク症状以外に特徴的な症状は出るものなのでしょうか。ツヤであったりケバタキ症状などあれば教えて頂きたいです。また、エライザ検定でわかるものなのかもお聞きしたいです。よろしくお願いします。

**「回答」**

お問い合わせありがとうございます。

「男爵薯」の症状では保毒塊茎を植えた場合に、明らかに健全株に比べて生育が劣るような症状　　　　　　が出ることはありますが、残念ながらそれ以外の明瞭な症状が出ることはほとんどありません。

ツヤについては、PVYに感染した葉が少し厚ぼったくなり、光沢が強く見えるとおっしゃる方もいますが、見る人の感覚によるところが強く、特徴的な症状とするほど明瞭なものではありません。上位葉を残し下位葉が萎れるようなケバタキ症状は「男爵薯」の症状では見たことがありません。

エライザでの検定は可能です。PVY-NTNのウイルス粒子表面にある抗体が識別する部分の構造が以前から発生していたPVY-Nと良く似ているため、PVY-Nの検出と同様に検定できます。